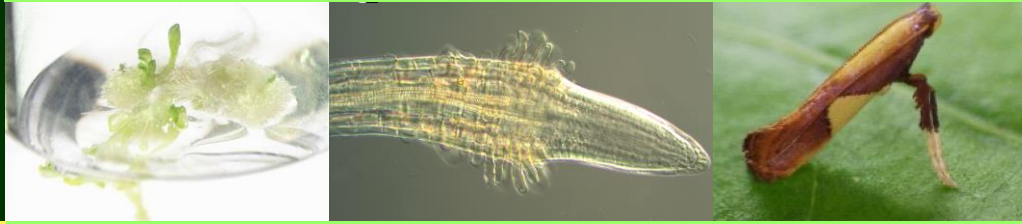


第53回
植物バイテク
シンポジウム

再生と改変
～植物の再分化能力の秘密に迫る～



日時:
2018年 11月30日(金)
13:20～17:30
場所: 京都産業大学
15号館1階
15102セミナー室

〒603-8555
京都市北区上賀茂本山
<http://www.kyoto-su.ac.jp/about/index.html>

アクセス

- (1) 京都市営地下鉄「国際会館駅」下車→(京都バス(40系統)で京都産業大学前下車
- (2) 京都市営地下鉄「北大路駅」下車→市バス(北3号系統)または京都バスで京都産業大前下車



京都産業大学地図

12:50 受付開始
13:20 はじめに (武田征士、京都府立大学)

第一部: 植物再生研究の最先端

13:30 - 14:10 岩瀬 哲 (理化学研究所・環境資源科学研究センター)
「植物の再生機構と虫こぶ形成 ～その相違を探る～」

14:10 - 14:50 朝比奈 雅志 (帝京大学・理工学部・バイオサイエンス学科)
「植物切断組織の癒合に関する植物ホルモンと転写因子の時空間的制御」

14:50 - 15:30 佐藤 雅彦 (京都府立大学・生命環境学部)
「虫こぶはなぜできる?: モデル植物シロイヌナズナを使って、虫こぶのなぞを解く」

15:30 - 15:45 休憩

第二部: 虫こぶ研究の現場から

15:45 - 16:05 坂本 智昭 (京都産業大学・総合生命科学部)
「RNA-seqの解析手法 ～非モデル生物のトランスクリプトーム～」

16:05 - 17:25 京都府立大学 虫こぶチーム学生有志
齊藤悠馬 「虫こぶ形成昆虫に含まれる道管誘導物質の同定」
田中玲帆 「虫の能力を利用して行う二次壁形成に関わる分子およびその分泌機構の解析」
藤井裕都 「虫こぶ形成植物の無菌培養系の確立及びその利用」
石上真衣 「虫こぶ形成昆虫は植物に利益をもたらす?！」
笹谷絵梨 「虫こぶ形成過程のヌルデシロアブラムシを用いた、植物種非依存的な葉及び根毛の成長制御」
余座万紀子 「組織学からみるヨモギ虫こぶの多様性」
天野泰輔 「タマホソガは何を求めてゴールを形成するのか?: メタボローム解析からのアプローチ」

17:20 終わりに (木村成介、京都産業大学)

17:30 情報交換会 (京都産業大学ラウンジ 「ふるさと」)

【シンポジウム参加方法】

シンポジウムの参加希望者は下記要領で申込みの上、12:50から受付を開始しますので、会場に直接お越しください。

【申し込み方法】

シンポジウムおよび情報交換会への参加希望者は、E-mailまたはFAXにて、氏名・所属機関を明記のうえ、平成30年11月22日(木)までにお申し込みください。シンポジウム:無料、情報交換会:会費5,000円(一般)、3,000円(ポスドク・研究員)、1,000円(学生)

申込み先 木村 成介 宛 (〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学)
TEL 075-705-3113 E-mail: seisuke@cc.kyoto-su.ac.jp

主催: 京都植物バイテク談話会 <http://www2.kpu.ac.jp/assoc/kpba/>

共催: 京都産業大学生態進化発生学研究センター

(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物における生態進化発生学研究拠点の形成—統合オミックス解析による展開—」)

京都府立大学大学院・生命環境科学研究科・応用生命科学専攻では博士課程(前期, 後期)の学生を募集しています